



(十五夜のお月見)



10月の子育て支援センターだより

新年の地震に続き、能登にまた大雨災害が発生してしまいました。自然と人間との関わりを考えさせられます。地元でとれた物を食べ、旬の物を味わい、自然の中へ出かけ生き物にふれる……



滋川市子育て支援総合センターは、そんな素朴なことを大切にしています。

暑い暑いと言いつつも、秋の風を感じながら、庭遊びもしています。火皿のさつまいもの葉で遊び、稲刈り前の田んぼに芋山子(かかし)を作ったり……10月は収穫体験もあります。自然の恵みに感謝し、体をいっぱい動かして、**食う** **寝る** **遊ぶ** を思いきり楽しみましょう!

10月のわらべうた

どんぐりころちゃん



♪ どんぐりころちゃん あたまはとんがって
おしりはぺらちゃんこ
どんぐりはちくりしよ

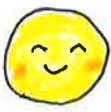
※「はちくりしよ」でジャンケンしたり、どっちに入ってるか?を手の中のどんぐり当てっこをしたり、いろいろできるよ

よちよちの日



澄みきった秋の空が、心も身体もウキウキとさせてくれる季節になりました。9月のよちよちは、災害の時に役立つ懐中電灯(光)に目を向け、影絵遊びを行いました。月末には、散歩にも出掛け、階段を上り、駅まで行ってきました。吹く風が気持ち良かったです。10月は、運動会ごっこに向けて、運動遊びを取り入れながら、身体を沢山動かします。食欲モリモリ!!ぐっすり睡眠で、元気に過ごしましょう! <ゼミ予約をしてくださね> <よくお散歩>

♪ <サーキット遊び>



10/15は十三夜のお月見です



あかちゃんの日



黄金色の稲穂がこうべをたれています 10月にはいよいよ収穫です
あかちゃんの日では、足型アートとして『はらぺこあおむし』の制作をおこないました
おかあさん同士 協力してあかちゃんの足型をとり オレンジをおいしそうに食べるあおむしを貼りつけ完成!!
個性ある作品ができました よくみると顔がそれぞれ少しずつちがいますね
さて 10月は芸術の秋 読書の秋 食欲の秋と様々ですが あかちゃんとおかあさんにとっては どんな秋でしょうか?



少し大きくな赤ちゃん

9月は あんがでのふれあいやあそびを楽しみました。子ども達は お母さんの背中でニコニコでした。

----- あんがをみると -----

- ・ 子どもの視野が広がっていくので、脳の刺激になります。
 - ・ しかがみつくので、バランス感覚が鍛えられます。
 - ・ 背中ひたさついで安心感、肺も鍛えられます。
 - ・ 大人の両手があるため、動きやすくなります。
- あんがは 難しくても思っている人も少しづつチャレンジしてみませんか。



みんなであそび

9/26 波州市総合公園の見晴台。天気に恵まれ、たのしめました。

10月は公園あそびを予定しています。

秋の自然を五感でかい、みんなであそびまわろう

～のびのびの日～



《ちょっとひと休み》 暑い日でしたが

9月13日赤城自然園に行ってきた。前日までの雨で足元は悪く少し



抱っこ赤ちゃん達は、風にゆれる木漏れ日を指差して「あ！あ！」と何かを感じているようでした。皆さんも是非ゆくりと出掛けて下さい。

☆5月の田植え、6月のさつまいもと、みんなで植えた苗が大きくなり、収穫時期を迎えました。今は、処理加工されたものが多くありますが、子どもと一緒に収穫物に触れて食の恵みや感謝を感じてみませんか？旬のものには、その時に必要な栄養がたくさん含まれているそうです！！



まずは想いを届けたりすることが大事

こんな場面、おうちでもありますか？
例えば、子どもが薬を嫌がります。今は便利な道具もあります。アイスクリームやゼリーにまぜて飲ませます。それはそれで良いのかもしれません……

でも、その前に、この薬をなんで飲まなきゃいけないのか、どうして飲んでほしいのか……を大人が子どもに語ってあげてほしいのです。



たとえ赤ちゃんでも言葉で伝えます。
(オムツ濡れたね、気持ち悪いね)
(オムツかえるよ、気持ち良くなったね)

大人が簡単にできるようなものではなく大人がやるべきこと、伝えるべきことを言葉にしていくと、そこに丁寧な生活が生まれます。

参照：「げんこ」No.205

いま子どもたちに言葉をも尽くして伝えていく

言葉を届けられた子は考えるようになる

子育ては、野菜や草花を育てることと似ています。センターの畑や庭には、すぐ雑草が生えます。これを手入れすることは、糸結構面倒なことですが、手入れをしていると、子どもたちが寄って来て、一緒に草むしりをしてくれます。自然なまね遊びの始まりです。おしゃべりも楽しめます。



人工物や高級な玩具で遊ぶよりも、はるかに丁寧な生活になります。

子どもは、大人がなぜそれを大事にしているかを考えるようになります。

そうやって、好奇心を伸ばしていくのです。



日常の生活を振り返り、いつかを言葉で伝えていけば子どもたちの感性も、言葉の力も、表現力も、所属感も、安心感も、コミュニティに参加しようとする貢献度、人間関係も、得ることができていくのです。